



★単元目標

- ごみなどの廃棄物は、人々の生活から日常的に排出されていることを知り、ごみの処理や再利用の仕組み、人々の工夫や努力について理解するとともに、見学や具体的資料から必要な情報を集め、整理することができる。【知識・技能】
- ごみの処理や再利用について調べたことを関連付けて考え、ごみ処理事業の役割や課題を見いだし、自分の考えを表現することができる。【思考・判断・表現】
- ごみに関わる課題について問いをもち、主体的に学習に取り組むとともに、学習したことを自分たちの生活に生かそうとする態度を養う。【学びに向かう力】

育みたい情報活用能力

情報を選択・比較・整理・分析し、課題を見い出して問いを設定し、
自分の考えを表現・共有する力

本時の目標

資料を関連付けて読み取り、ごみの課題について問いを設定することができる。

実態からわかること

- ・ 関心・意欲が高く、学習の見通しが立つと進んで取り組むことができる。
- ・ 友だちの話に関心を持って聞くことができる反面、自分の考えに自信を持って伝えることが苦手な児童は多い。
- ・ 型に沿うことに終始し、個の視点・工夫が表れにくい。
- ・ 情報から自分なりの視点をもつことが課題。

子どもの実態

- ① 物事への関心・意欲が高く、できるようになりたい気持ちが強い。
- ② 友だちへの関心が高い。

- ③ 調べ学習では自分の問いを立て、ICT・ノート・付箋を使い分けて情報を整理している。

- ④ データ比較や予想を立てることを楽しいと感じる児童が一定数いる。
- ⑤ ユニークなアイデアを持っている児童が多い。

★使用するツールやコンテンツ等

- ・ 教科書：わたしたちのまち 吹田・大阪（吹田市教育委員会）【情報収集】
- ・ インターネット【情報収集】
- ・ MetaMoJi Classroom3【整理分析】【まとめ・ふりかえり】
- ・ ノート・付箋【整理分析・視覚支援の手立て】

★単元計画（全 19 時間）

	学習内容	主な評価規準【観点】
第 1・2 時	学習課題を知り、エージェンシートを作成する ・学習課題について、教科書を元に、予想したり調べる計画を立てたりする。	学習課題について予想をもち、自分が調べたいことを考え、学習の見通しを持っている。【思考・判断・表現】
第 3・4 時	わたしたちのくらしで、毎日どのくらいゴミが出ているのかを知る ・ゴミ調べの準備をする ・ゴミ調べで得た情報を整理・比較し、自分たちのくらしとの関わりを考える。	ゴミの排出量や種類について調べ、必要な情報を整理している。【知識・技能】
第 5 時	分別したゴミはどこへ行くのかを調べる。 ・吹田市の 12 種分別表をもとに、燃えるゴミ・資源ゴミ・大型ゴミがそれぞれ何処へ・どうやって運ばれるのかを、必要な情報を選択しながら調べ、整理する。	ゴミの分別や収集について、必要な情報を選択し整理している。【知識・技能】
第 6 時 (本時)	「くらしとゴミ」の学習における、自分の問いを見つける。 ・複数のごみに関する資料を読み取り、関連付けながら、自分が調べたい問い（wonder）を見つけ、具体化する。	複数の資料を比較・関連付けながら、自分が調べたい問いを見だし、問いを具体化している。【思考・判断・表現】
第 7・8 時	ゴミの運搬の方法と、働く人の努力や工夫について知る。 ・パッカー車を見学し、働く人の話を聞く。 ・収集の工夫を具体的に理解する。 ・パッカー車見学からわかったことをまとめる。	見学や話から必要な情報を収集し、ゴミ収集の工夫について理解している。【知識・技能】
第 9～11 時	ゴミがどのように処理されるのかを知り、まとめる ・燃えるゴミ・資源ゴミ・大型ゴミが、それぞれどのように処理されるのかを、社会見学・教科書・本・インターネットを使って調べ、まとめる。	複数の資料や見学で得た情報を関連付け、ゴミ処理の仕組みや働く人々の工夫について考えをまとめている。【思考・判断・表現】
第 12 時	再利用されないゴミがあることを捉え、どこへ行くのかを捉える。 ・最終処分場（埋立地）について、教科書・本・インターネットで調べ、まとめる。	複数の資料や見学で得た情報を関連付け、ゴミ処理の仕組みや働く人々の工夫について考えをまとめている。【思考・判断・表現】
第 13 時	くるくるプラザで取り組んでいる、ゴミを減らすための工夫や努力をまとめる。 ・社会見学・体験学習・教科書から、わかったことをまとめる。	複数の資料や見学で得た情報を関連付け、ゴミ処理の仕組みや働く人々の工夫について考えをまとめている。【思考・判断・表現】
第 14 時	ゴミと私たちのくらしのつながりを知る ・ゴミが増え続けるとどうなるのかを捉える。 ・学習で得た情報を基に、自分にできる行動を考える。	学習したことをもとに、自分の生活との関わりを考え、今後の行動について見直そうとしている。【主体的に学習に取り組む態度】
第 15～18 時	パフォーマンス課題作成 ・伝えたい相手・発表内容・方法を決める。 ・考えを整理し表現する。	必要な情報を整理し、相手に伝わるように工夫して表現している。【思考・判断・表現】
第 19 時	発表・振り返り・学びを生活に生かす	学習を振り返り、自分の生活に生かそうとしている。【主体的に学習に取り組む態度】

学習の流れ	主な学習活動と内容（子どもの反応）	支援や情報活用のポイント ☆：情報活用能力のポイント
導入 (7分)	○前時までの学習と振り返りシートを確認する。 ○めあてを確認する。 「ごみにまつわる資料を読み取って、自分の wonder を持とう」 ○今日の学習予定を確認する。 ○資料を見る ・プロジェクターに投影し、5つの資料を見せる。 （資料例）吹田市と全国のごみの排出量 食品ロスの実態 等 ・各自の iPad で資料を見て、一番気になる資料を心の中で決めさせる。	・MetaMoji にて予定を確認し、学習の見通しを持たせる。 ・資料を見ることに集中できるよう、書き込み機能をオフにしておく。
集める (15分)	○資料を読み取る。 ・自分の問いにつながりそうな資料を2つ選び、MetaMoji に自分の気づきを書きこむ。 ○読み取ったことをペアで共有する。 ・資料のどの数字（図）から、どのように思ったのかを伝えさせる。	☆問いにつながりそうな資料を自分で選択する。 【選択】 ☆資料に直接書き込んだり、思考ツールを使ってまとめたりしながら、読み取る。 【整理・分析】 ・時間配分を意識させる。 ・めあてから外れていないか、モニター機能で確認する。
まとめる (10分)	○ピラミッドチャートを使って、読みとったこと（see）を、気づき（Think）、問い（wonder）へと絞る。 （なぜ吹田市のごみの量は全国より少ないのだろうか？） （学校の給食からはどのくらい食品ロスが出ているのだろうか？）	☆ピラミッドチャートをつかって、自分の考えを絞りこみ、問いを持つ。 【まとめる】
伝える (5分)	○見つけた問いを伝える（全体→ペア） ・wonder からの気づきや予想を話すよう促す。 ・児童に応じて、詳しく話せるよう質問をする。	
振り返り (3分)	○振り返りを記入する。 ・うまくいったこと/少しうまくいかなかったこと/うまくいかなかったことを振り返りシートに記入する。	・めあてにどれだけ近づけたか、時間配分はどうだったか、資料はどの程度読み取れたかを振り返らせる。 【まとめ・ふりかえり】



4年

社会科

「くらしとごみ」

吹田市立 青山台小学校

4-2

★単元目標

- ごみなどの廃棄物は、人々の生活から日常的に排出されていることを知り、ごみの処理や再利用の仕組み、人々の工夫や努力について理解するとともに、見学や具体的資料から必要な情報を集め、整理することができる。【知識・技能】
- ごみの処理や再利用について調べたことを関連付けて考え、ごみ処理事業の役割や課題を見いだし、自分の考えを表現することができる。【思考・判断・表現】
- ごみに関わる課題について問いをもち、主体的に学習に取り組むとともに、学習したことを自分たちの生活に生かそうとする態度を養う。【学びに向かう力】

育みたい情報活用能力

情報を選択・比較・整理・分析し、課題を見い出して問いを設定し、
自分の考えを表現・共有する力

本時の目標

資料を関連付けて読み取り、ごみの課題について問いを設定することができる。

実態からわかること

- ・身近な生活や地域への関心が高く、体験と結び付けて主体的に学習に取り組める。
- ・話を聞く・伝えることに課題があり、協働的な学びを深めるための支援が必要である。
- ・情報機器の活用には個人差があり、操作に不安のある児童への個別・協働の支援が必要である。

子どもの実態

③ 児童は、学校生活や地域の出来事に関心を持ち、自分の体験や既存の知識と結び付けながら、主体的に学習に取

②話を聞く・伝えることに苦手な児童もあり、協力して話を進めるための支援が必要である。

③情報機器の操作に不安のある児童もあり、個別や協働での支援が必要である。

★使用するツールやコンテンツ等

- ・教科書：わたしたちのまち 吹田・大阪（吹田市教育委員会）【情報収集】
- ・MetaMoJi Classroom3【整理分析】【まとめ・ふりかえり】
- ・インターネット【情報収集】
- ・ノート・付箋【整理分析・視覚支援の手立て】

★単元計画（全 19 時間）

	学習内容	主な評価規準【観点】
第 1・2 時	学習課題を知り、エージェンシートを作成する ・学習課題について、教科書を元に、予想したり調べる計画を立てたりする。	学習課題について予想をもち、自分が調べたいことを考え、学習の見通しを持っている。 【思考・判断・表現】
第 3・4 時	わたしたちのくらしで、毎日どのくらいゴミが出ているのかを知る ・ゴミ調べの準備をする ・ゴミ調べで得た情報を整理・比較し、自分たちのくらしとの関わりを考える。	ゴミの排出量や種類について調べ、必要な情報を整理している。 【知識・技能】
第 5 時	分別したゴミはどこへ行くのかを調べる。 ・吹田市の 12 種分別表をもとに、燃えるゴミ・資源ゴミ・大型ゴミがそれぞれ何処へ・どうやって運ばれるのかを、必要な情報を選択しながら調べ、整理する。	ゴミの分別や収集について、必要な情報を選択し整理している。 【知識・技能】
第 6 時 (本時)	「くらしとゴミ」の学習における、自分の問いを見つける。 ・複数のごみに関する資料を読み取り、関連付けながら、自分が調べたい問い（wonder）を見つけ、具体化する。	複数の資料を比較・関連付けながら、自分が調べたい問いを見だし、問いを具体化している。 【思考・判断・表現】
第 7・8 時	ゴミの運搬の方法と、働く人の努力や工夫について知る。 ・パッカー車を見学し、働く人の話を聞く。 ・収集の工夫を具体的に理解する。 ・パッカー車見学からわかったことをまとめる。	見学や話から必要な情報を収集し、ゴミ収集の工夫について理解している。 【知識・技能】
第 9～11 時	ゴミがどのように処理されるのかを知り、まとめる ・燃えるゴミ・資源ゴミ・大型ゴミが、それぞれどのように処理されるのかを、社会見学・教科書・本・インターネットを使って調べ、まとめる。	複数の資料や見学で得た情報を関連付け、ゴミ処理の仕組みや働く人々の工夫について考えをまとめている。 【思考・判断・表現】
第 12 時	再利用されないゴミがあることを捉え、どこへ行くのかを捉える。 ・最終処分場（埋立地）について、教科書・本・インターネットで調べ、まとめる。	複数の資料や見学で得た情報を関連付け、ゴミ処理の仕組みや働く人々の工夫について考えをまとめている。 【思考・判断・表現】
第 13 時	くるくるプラザで取り組んでいる、ゴミを減らすための工夫や努力をまとめる。 ・社会見学・体験学習・教科書から、わかったことをまとめる。	複数の資料や見学で得た情報を関連付け、ゴミ処理の仕組みや働く人々の工夫について考えをまとめている。 【思考・判断・表現】
第 14 時	ゴミと私たちのくらしのつながりを知る ・ゴミが増え続けるとどうなるのかを捉える。 ・学習で得た情報を基に、自分にできる行動を考える。	学習したことをもとに、自分の生活との関わりを考え、今後の行動について見直そうとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】
第 15～18 時	パフォーマンス課題作成 ・伝えたい相手・発表内容・方法を決める。 ・考えを整理し表現する。	必要な情報を整理し、相手に伝わるように工夫して表現している。 【思考・判断・表現】
第 19 時	発表・振り返り・学びを生活に生かす	学習を振り返り、自分の生活に生かそうとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】

学習の流れ	主な学習活動と内容（子どもの反応）	支援や情報活用のポイント ☆：情報活用能力のポイント
導入(5分)	複数の資料を見て、驚いたこと・初めて知ったこと・気になったことを書く。	ゴミについての資料をプロジェクターに提示・MetaMoJi 配布。
展開 (30分)	資料からゴミについて考える。 ごみ処理にかかる費用 焼却炉の耐用年数 海洋プラスチック50年問題 吹田市のごみについて 思考ツール(ピラミッドチャート)をつかい考えを整理する。	【整理分析】 思考ツールを活用してまとめさせる（紹介する） 操作の早い児童に困っている子とペアで教えさせる（操作は本人がするように徹底）
まとめ (10分)	問いを書く。 「ごみを減らすにはどうすればいいだろう。」 「お金をかけずにごみを処理するにはどうすればいいだろう。」 「焼却炉に頼らない方法はあるのだろうか。」 「海洋プラスチックごみをなくすには何が必要なのだろう。」 「私たちにできることは何だろう。」 問いを、共有する。	【まとめ・ふりかえり】 文字入力が間に合わない子は、 ①MetaMoJiの「録音機能」を使って、自分の口で「わかったこと」を録音して提出。 ②MetaMoJiの手書き→変換を使って、提出。 ③手書きで提出